



授業科目	くらしと経済				
担当教員	岡本 純				
開講時期	後期	講義形態	講義	単位数	2単位

学科 DP との関連	DP I		DP II		DP III
	1	2	1	2	1
	◎	◎			

授業の目的
経済の問題だけでなく、私たちが生活していくうえで存在する身近な問題についての基礎的な知識を理解する。

授業の到達目標
新聞・雑誌などで取り上げられている身近な経済・社会問題を理解し説明することができる。 経済・社会の仕組み、理論の重要性、考え方を理解し、他者へ説明ができる。

自修について(予習・復習内容等)
かならず予習(新聞を読むこと)(1時間)、教科書を読むこと(1時間)、毎回与えられた課題に取り組んだうえで(2時間)授業に参加すること。

回数	授業計画・内容
1	ガイダンス
2	社会・経済の仕組みを知る
3	経済発展の軌跡を知る
4	社会問題全般を考える
5	世界情勢を知る
6	世界経済を知る
7	現代社会の豊かさ
8	消費者主権を考える
9	景気・物価と株式・金利
10	日本的経営の特徴
11	人口・国土・産業を考える
12	雇用と労働環境を知る
13	少子高齢化と社会問題
14	女性と社会
15	まとめ
16	なし

成績評価の方法・基準
発表 40%、レポート・課題 60%、計 100%

教科書
釜賀雅史・岡本純編『現代日本の企業・経済・社会』学文社 2013

参考書・参考資料
釜賀雅史・岡本純『現代企業とマネジメント』ナカニシヤ出版2008 山家 悠紀夫『暮らし視点の経済学—経済、財政、生活の再建のために』新日本出版社2011 日本経済新聞、日経MJ

その他(学生へのアドバイス)
毎日、新聞を読み、身近に起こっている社会・経済・時事の問題を理解しておくこと。